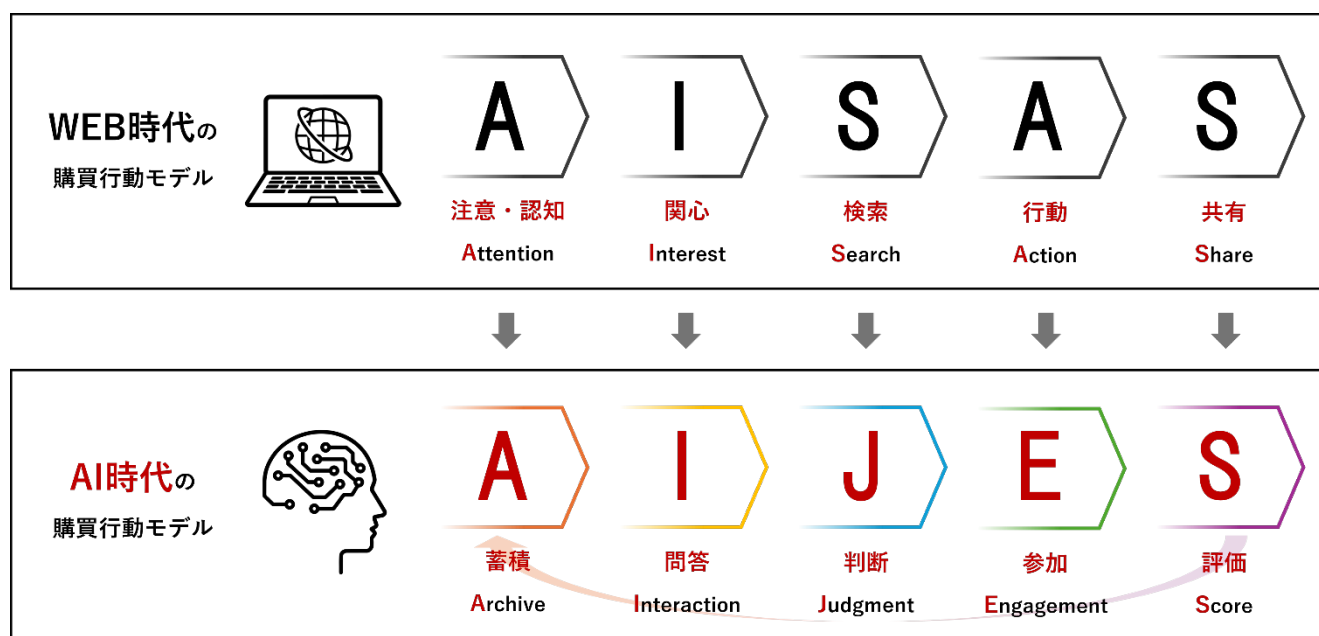


国内電通グループ、AI 時代の新購買行動モデル「AIJES」^{アイジェス}を提唱

－ 人と AI の協働による新たな意思決定プロセスを提示 －

国内電通グループの 4 社（電通総研、電通、電通デジタル、電通マクロミルインサイト）は、AI 時代における新しい購買行動モデル「AIJES（アイジェス）」（商標出願中）を提唱します。「AIJES」は、生活者と AI が協働して、情報の蓄積から意思決定、評価までを行う一連の購買プロセスを定義したものです。AI の普及によって変化する情報の取得手段や購買行動の変化を踏まえて、企業のマーケティング活動の高度化に伴走していきます。



従来は検索エンジンや SNS などによる情報の取得が主流でしたが、現在は AI に問いを立て、その回答を参考に意思決定を行うケースが増えています。こうした変化は、幅広い世代で確認されており、日常生活における情報接触のあり方そのものが転換期を迎えています。

国内電通グループは、このような情報接触のあり方の変化が生み出している新しい購買行動をモデル化し、AI 時代の新購買行動モデルとして「AIJES」を提唱します。「AIJES」は、蓄積 (Archive)、問答 (Interaction)、判断 (Judgment)、参加 (Engagement)、評価 (Score) の 5 つで構成され、人と AI が協働しながら、これら 5 つのステップを歩み、それが循環していく点に特徴があります。

「AIJES」は、インターネットを経由した購入が主流になった 2004 年に当社グループが提唱したウェブ時代の購買行動モデル「AISAS[®]」を発展させたものです。AI を前提にした情報環境に対応したモデルであり、購買行動の過渡期においては「AISAS[®]」と「AIJES」がしばらく並走していくことも想定しています。また、「AIJES」は、AI の活用が進む中でも、最終的な意思決定を担う人間の「(直感も駆使した)判断」に着目したモデルです。判断の質を高めるためには、ニーズ潜在期における情報蓄積や、ニーズ顕在期の AI 経由だけではなく、統合的な情報入手も重要であると考えま

す。



国内電通グループは 2025 年より「AIJES」モデルの実践を推進しています。今後はその知見と実績を基盤に、AI 時代にふさわしい顧客接点の創出とブランド価値の向上を図るとともに、AI を活用した広告コミュニケーションサービスのさらなる進化を通じて、生活者一人一人に最適な情報体験の実現を目指します。

今後も、人と AI の共創による新たなマーケティングの可能性を追求し、企業と生活者のより豊かな関係構築と持続的な社会価値の創出に貢献してまいります。

■ 連携各社の役割

株式会社電通	AI 時代の購買行動モデル「AIJES」に基づく、マーケティング戦略・構想を立案し、グループ各社と連携しながら、クライアントの効果的なマーケティング変革の実現を支援します。
株式会社電通デジタル	データ、AI・テクノロジーと CX／デジタルマーケティングの実装力を生かし、「AIJES」に基づく顧客体験の設計から、広告・オウンド・コマース・CRMなどの施策実行・運用までを推進します。
株式会社電通総研	電通総研に設立した「AI 開発センター」※が中心となり、「AIJES」の考え方に基づく AI アプリケーションや AI エージェントの開発・技術検証や、各種 PoC を推進します。
株式会社電通マクロミルインサイト	多様な調査・データ分析を通じ、「AIJES」の観点で AI 時代における購買行動や生活者インサイトを解き明かし、企業のマーケティング戦略・施策の意思決定を支援します。



国内電通グループは、“人間の知(=Intelligence)”と“AIの知”の掛け合わせによって、顧客や社会の成長に貢献していく独自のAI戦略「AI For Growth」を推進しています。

AI For Growthについては、以下ウェブページをご確認ください。

https://www.dentsu.co.jp/labo/ai_for_growth/index.html

※ 2026年1月30日発表「電通総研、国内電通グループのAIソリューション開発の中核機能を集約したAI開発センターを新設」

<https://www.dentsusoken.com/news/release/2026/0130.html>

■電通総研について <https://www.dentsusoken.com>

電通総研は、「HUMANOLOGY for the future～人とテクノロジーで、その先をつくる。～」という企業ビジョンの下、「システムインテグレーション」「コンサルティング」「シンクタンク」という3つの機能の連携により、企業・官庁・自治体や生活者を含めた「社会」全体と真摯に向き合い、課題の提言からテクノロジーによる解決までの循環を生み出し、より良い社会への進化を支援・実装することを目指しています。

テクノロジーや業界、企業、地域の枠を超えた「X Innovation(クロスイノベーション)」を推進し、これからも人とテクノロジーの力で未来を切り拓き、新しい価値を創出し続けます。

* 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

【「AI開発センター」に関するお問い合わせ先】

株式会社電通総研 技術統括本部 クロスイノベーション本部 AI開発センター 伊勢、杉之尾

E-Mail: g-ai@group.dentsusoken.com

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通総研 コーポレートコミュニケーション部 山田

TEL: 03-6713-6100 E-Mail: g-pr@group.dentsusoken.com